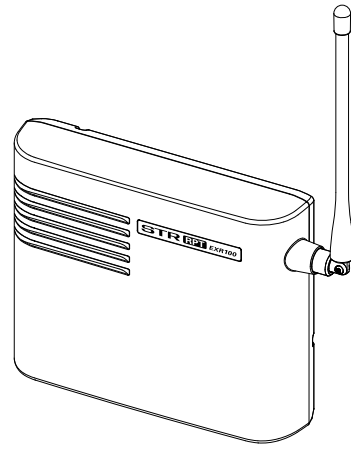


特定小電力中継器
EXR100

取扱説明書



お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

- ・この製品は国内専用モデルです。海外では使用できません。
- ・本体背面に貼ってある“証明ラベル”を剥がしたり、分解や改造を行うことは法律で禁止されています。
- ・他人の会話を聞いて、会話の内容を漏らしたり窃取することは法律で禁止されています。

付属品

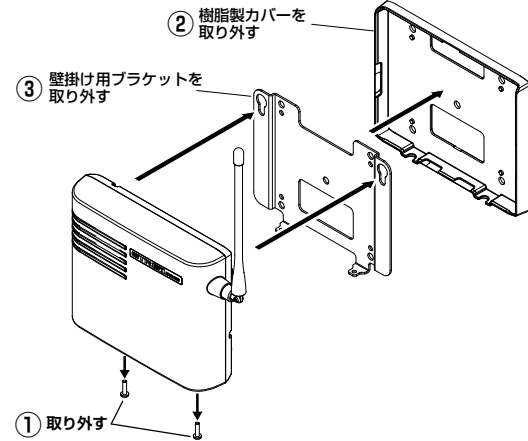
- 壁掛け用ブラケット
- 樹脂製カバー
- 電源プラグキャップ
- 壁掛け用ブラケット固定ネジ (M3x12) 2本
- バッテリー端子ラバーキャップ 2個 (本体に取付済)
- ゴム足 2個 (卓上運用用)
- 取扱説明書
- 保証書

2109R-AS



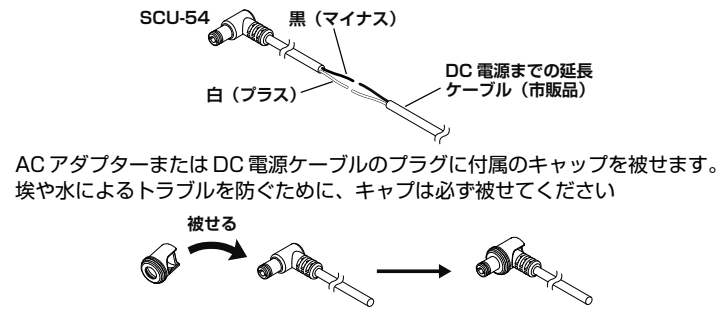
設置する前の準備

本体に取り付けられている、樹脂製カバーと壁掛け用ブラケットを取り外します。



DC 電源使用時は、オプションの DC 電源ケーブル “SCU-54” に DC 電源までの延長ケーブルを接続します。

- ・プラスとマイナスを間違えないように注意して、ハンダ付けで確実に接続してください。
- ・接続部はビニールテープなどで絶縁して、ショートしないように注意してください。

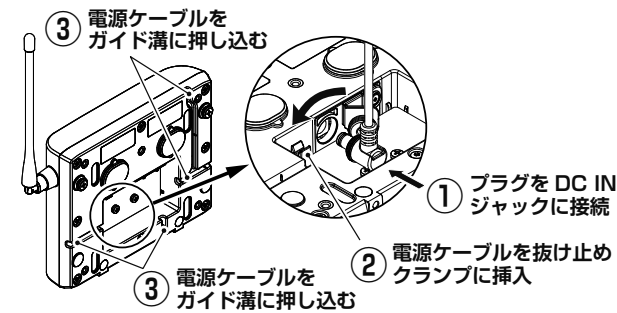


AC アダプターまたは DC 電源ケーブルのプラグに付属のキャップを被せます。
埃や水によるトラブルを防ぐために、キャップは必ず被せてください

外部電源を使用する場合の取付方法

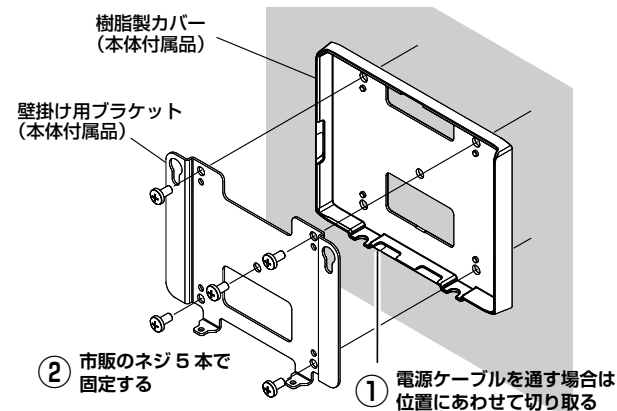
電源ケーブルを接続します

電源ケーブルを壁の中を通して設置する場合、この手順は最後に行います。
電源ケーブルのプラグを本体に接続して、電源ケーブルを抜け止めクランプにしっかりと押し込みます。
電源ケーブルを壁の中を通して設置する場合は、ガイド溝への押し込みは不要です。

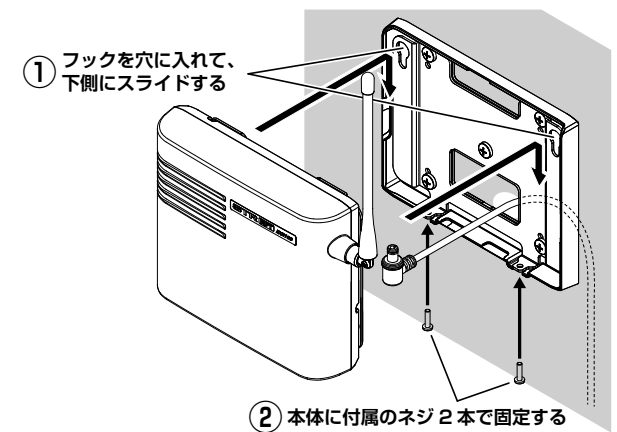


壁掛け設置

1. 樹脂製カバーと壁掛け用ブラケットを市販のネジ5本で壁に固定します。



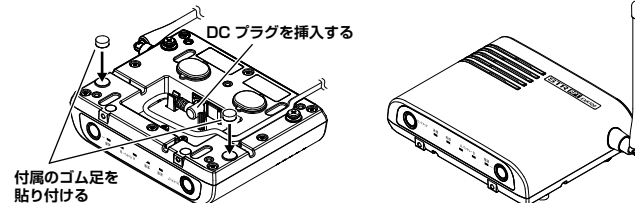
2. 本機上部のフック (2カ所) をブラケットの穴に挿入して下側にスライドさせて、下側をネジ2本で固定します。



以上で取付は完了です。

卓上運用

- 電源ケーブルのプラグを本体に接続して、引き出す方向にあわせてガイドの溝に押し込みます。
- 本体に付属のゴム足 (2個) を貼り付けます。



3. 卓上に設置します。

設置について

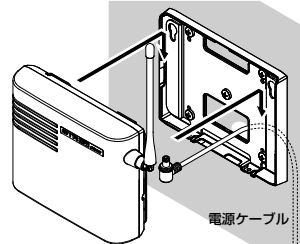
本機は外部電源とリチウムイオンバッテリーの両方の電源に対応しています。運用形態や設置環境に応じて適切な取付が可能です。

外部電源 (AC電源またはDC電源) を使用する場合

壁掛け設置 (①の設置方法をご覧ください)

● 設置/運用に必要な付属品/オプション

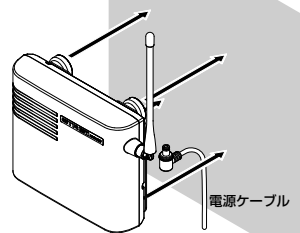
- ・ 壁掛け用ブラケット (付属品)
- ・ 樹脂製カバー (付属品)
- ・ AC電源使用時 (ACアダプター) SAD-50A
- ・ DC電源使用時 (DC電源ケーブル) SCU-54
- ・ M5 (φ5mm)ネジ (5本)
取り付ける壁の材質や厚みに適合する市販のネジが必要です。



マグネット2個で設置 (②の設置方法をご覧ください)
マグネット4個で設置 (③の設置方法をご覧ください)

● 設置/運用に必要な付属品/オプション

- ・ 壁掛け用ブラケット (付属品)
- ・ マグネットキット^{※1} MAG002
- ・ スペーサーキット^{※2} MAK002
- ・ AC電源使用時 (ACアダプター) SAD-50A
- ・ DC電源使用時 (DC電源ケーブル) SCU-54



※1 : マグネット4個で設置する場合 “MAG002” は2個必要です。
※2 : マグネット4個で設置する場合は不要です。

マグネットで取り付ける際の注意事項

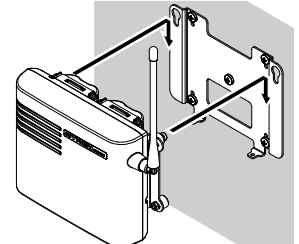
- ・ マグネットキットに付属の保護シートをマグネットに貼らずに使用すると、マグネットおよび取付個所にキズが付く恐れがあります。
- ・ マグネットの近くに磁気カードなどを近づけないでください。磁気カードなどの内容が消去される場合があります。

リチウムイオンバッテリーを使用する場合

壁掛け設置 (④の設置方法をご覧ください)

● 設置/運用に必要な付属品/オプション

- ・ 壁掛け用ブラケット (付属品)
- ・ バッテリー取付ブラケット SMB-206
- ・ ワンタッチ取付金具 MAK001
- ・ スペーサーキット MAK002
- ・ 大容量リチウムイオンバッテリー SBR-34LI
- ・ バッテリー充電器 (シングル充電器) SAD-3418B
- ・ バッテリー充電器 (2個同時充電) SBH-30 (SAD-50Aが必要)

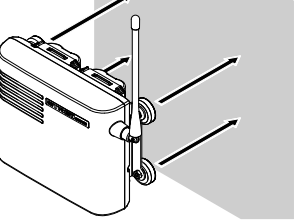


・ M5 (φ5mm)ネジ (5本)
取り付ける壁の材質や厚みに適合する市販のネジが必要です。

マグネット2個で設置 (⑤の設置方法をご覧ください)
マグネット4個で設置 (⑥の設置方法をご覧ください)

● 設置/運用に必要な付属品/オプション

- ・ バッテリー取付ブラケット SMB-206
- ・ マグネットキット^{※1} MAG002
- ・ スペーサーキット^{※2} MAK002
- ・ 大容量リチウムイオンバッテリー SBR-34LI
- ・ バッテリー充電器 (シングル充電器) SAD-3418B
- ・ バッテリー充電器 (2個同時充電) SBH-30 (SAD-50Aが必要)



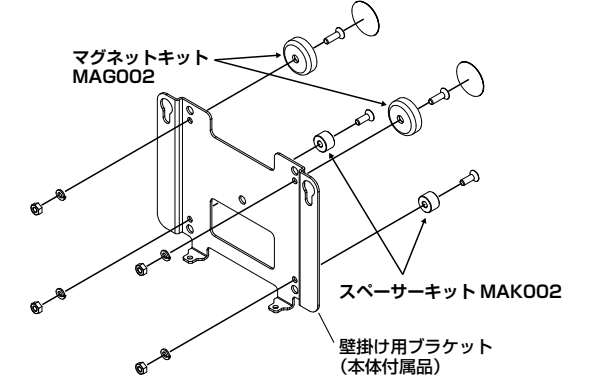
※1 : マグネット4個で設置する場合 “MAG002” は2個必要です。
※2 : マグネット4個で設置する場合は不要です。

②③ マグネットを使って設置

オプションのマグネットキットを使って、本機を金属製の壁などに取り付けます。マグネット2個での取り付け、または、マグネットを4個使用してより強固に取り付けることができます。

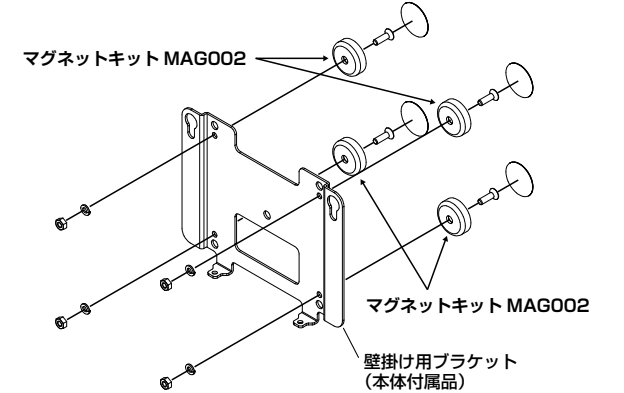
● マグネット2個で取り付ける場合

壁掛け用ブラケットにマグネットとスペーサーを取り付けます。

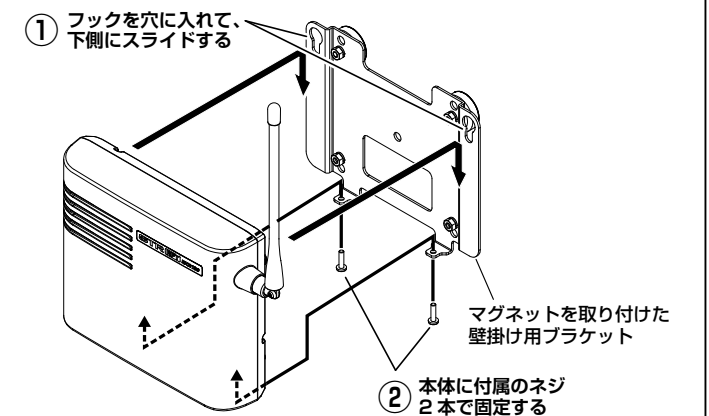


● マグネット4個で取り付ける場合

壁掛け用ブラケットにマグネットを取り付けます。

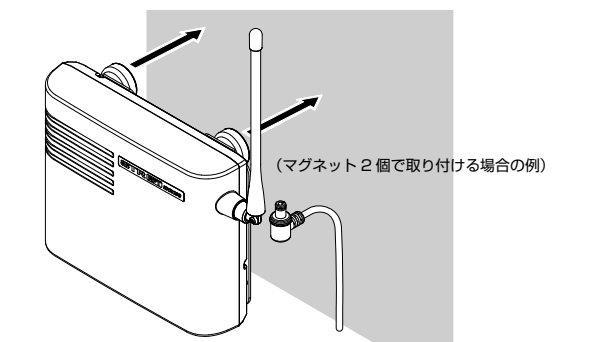


1. マグネットを取り付けた壁掛け用ブラケットを、付属のネジ (M3x12) で本体に取り付けます。



(マグネット2個で取り付ける場合の例)

2. 金属製の壁に取り付けます。



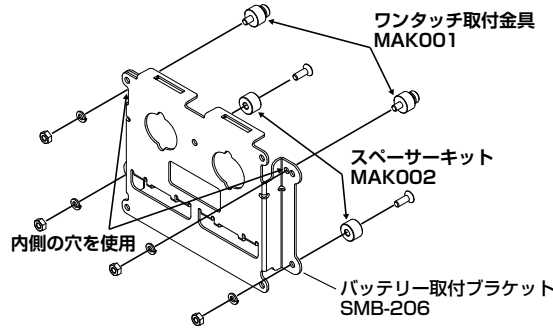
以上で取付は完了です。

リチウムイオンバッテリーを使用する場合の取付方法

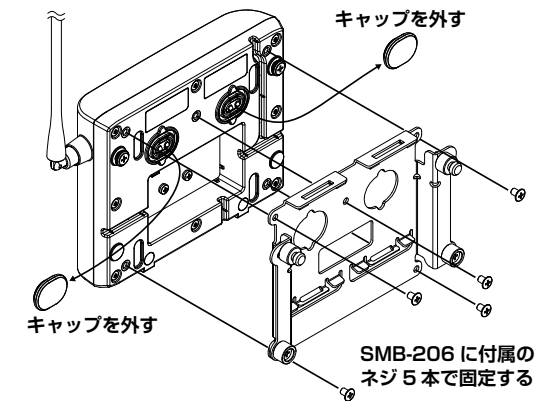
4

壁掛け設置

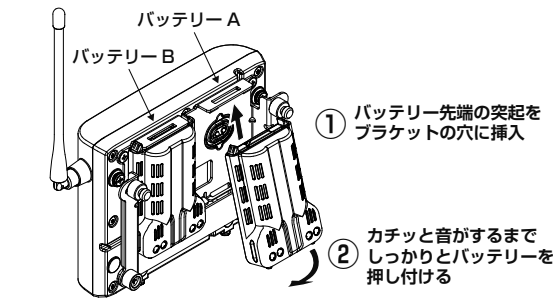
1. オプションのバッテリー取付ブラケットに、ワンタッチ取付金具とスペーサーを取り付けます。



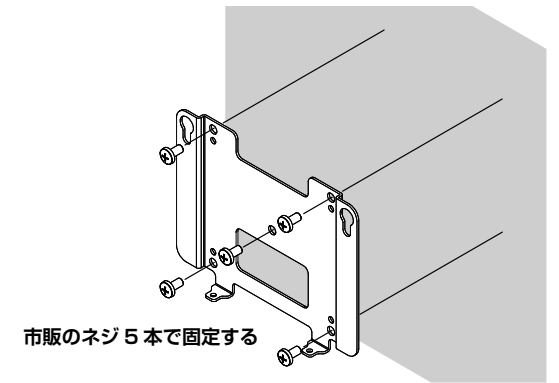
2. ワンタッチ取付金具とスペーサーを取り付けたバッテリー取付ブラケットを、ネジ5本で本体に取り付けます。



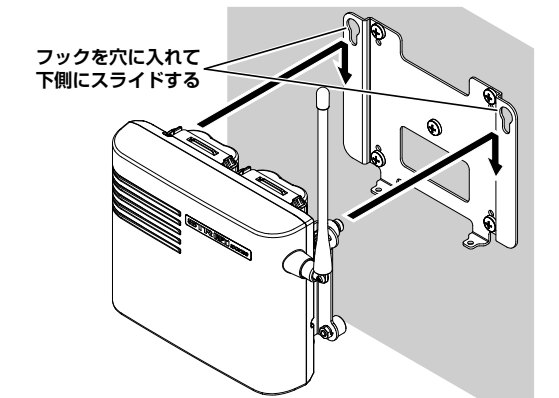
3. 充電したリチウムイオンバッテリー“SBR-34LI”をバッテリーA端子またはバッテリーB端子に取り付けます。



4. 付属品の壁掛け用ブラケットを市販のネジ5本で壁に固定します。(壁の材質や厚みにあわせて市販のM5 (φ5mm) ネジを用意してください。)



5. 本機の背面に取り付けたバッテリーブラケットのフックをブラケットの穴に挿入して下側にスライドさせます。



以上で取付は完了です。

5 6

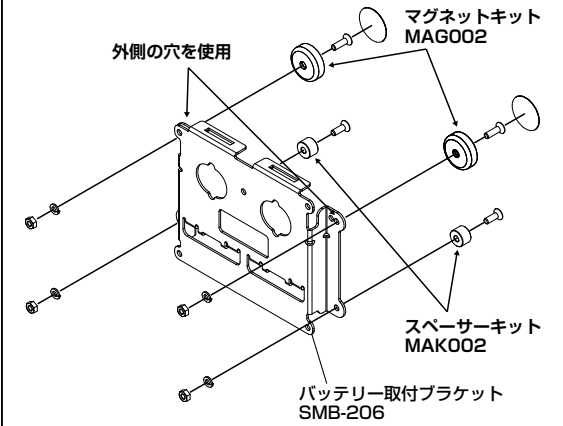
マグネットを使って設置

オプションのマグネットキットを使って、本機を金属製の壁などに取り付けます。マグネット2個での取り付け、または、マグネットを4個使用してより強固に取り付けることができます。

注意 リチウムイオンバッテリーで運用する時は、バッテリーの重さがありますので、マグネット4個で設置してください。

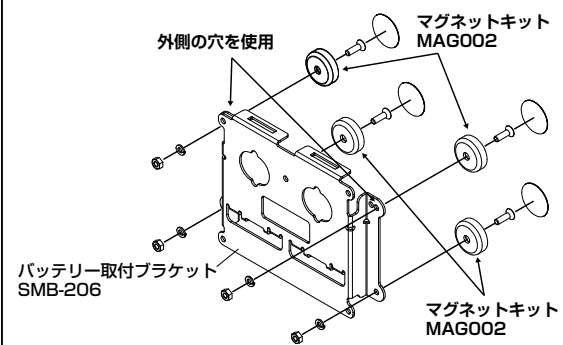
●マグネット2個で取り付ける場合

バッテリー取付ブラケットにマグネットとスペーサーを取り付けます。

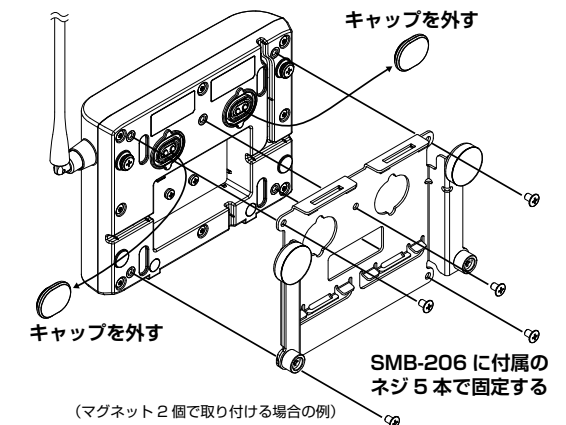


●マグネット4個で取り付ける場合

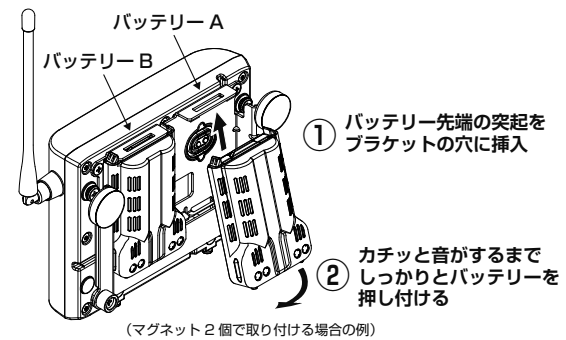
バッテリー取付ブラケットにマグネットを取り付けます。



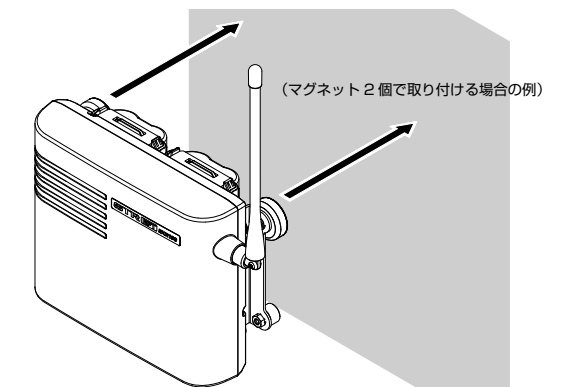
1. マグネットを取り付けたバッテリー取付ブラケットを、ネジ5本で本体に取り付けます。



2. 充電したリチウムイオンバッテリー“SBR-34LI”をバッテリーA端子またはバッテリーB端子に取り付けます。



3. 金属製の壁に取り付けます。



以上で取付は完了です。

リチウムイオンバッテリー運用

オプションのリチウムイオンバッテリー SBR-34LI を2個装着した場合約70時間*の運用ができます。

* 中継動作 (12秒)、待ち受け (48秒) の繰り返し。
実際に使用できる時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。

●リチウムイオンバッテリー“SBR-34LI”の充電

SBR-34LI を本機から取り外して、オプションの充電器で充電します。

対応充電器

- 充電器“SBH-30” (ACアダプター“SAD-50A”が必要) 空になったSBR-34LIを2個同時に約5時間で充電できます。充電が完了するとランプは赤色から緑色に変わります。
- シングル充電器“SAD-3418B” (ACアダプター付属) 空になったSBR-34LIを約4時間で充電できます。充電が完了するとランプは赤色から緑色に変わります。

●使用する電源の優先順位

使用する電源の優先順位は以下のとおりで、自動的に切り替わります。

- ① DC IN ジャックに接続された AC アダプターまたは DC 外部電源 ↓
- ② バッテリー A に装着された SBR-34LI ↓
- ③ バッテリー B に装着された SBR-34LI ↓
- ④ 非常用内蔵バッテリー
非常用内蔵バッテリーに切り替わった時は、電源 LED が緑色の点滅に変わり、子機に警告音を送信します。(工場出荷時設定)

非常用内蔵バッテリーについて

本機は非常用の電源としてリチウムイオンバッテリーを内蔵しています。電源ケーブルからの電源供給が途切れた場合や、リチウムイオンバッテリー“SBR-34LI”が空になったときは自動的に非常用内蔵バッテリーに切り替わり、中継動作を継続します。その際、電源 LED が緑色の点滅に変わり、更に子機に警告音を送信して知らせます。満充電の非常用内蔵バッテリーで本機が動作する時間は約10時間(目安)です。

●非常用内蔵バッテリーの充電

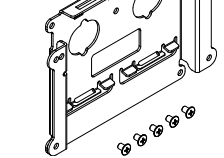
本機に DC 電源ケーブルから電源供給されていれば、本機の電源の ON/OFF に関わらず、常に満充電になるように充電が行われます。

- ・バッテリーの発熱、性能や寿命の低下、正しく充電できないなどの原因になりますので、充電は +5℃ ~ +35℃ の温度範囲で行ってください。
- ・リチウムイオンバッテリー SBR-34LI から非常用内蔵バッテリーの充電はできません。

オプション

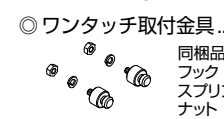
- ◎ AC アダプター*1 SAD-50A
- ◎ DC 電源ケーブル*2 SCU-54
- ◎ 大容量リチウムイオンバッテリー (3,350mAh)*3 SBR-34LI
- ◎ 充電器 (AC アダプター SAD-50A が必要) SBH-30
- ◎ シングル充電器 (AC アダプター付属) SAD-3418B
- ◎ バッテリー取付ブラケット SMB-206

同梱品:
ブラケット × 1
ネジ (M4×6) × 5



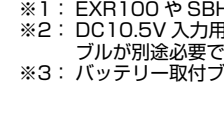
- ◎ マグネットキット MAG002

同梱品:
マグネット × 2
保護シート × 2
ネジ (M4×12) × 2
スプリングワッシャー × 2
ナット × 2



- ◎ ワンタッチ取付金具 MAK001

同梱品:
フック × 2
スプリングワッシャー × 2
ナット × 2



- ◎ スペーサーキット MAK002

同梱品:
スペーサー × 2
ネジ (M4×12) × 2
スプリングワッシャー × 2
ナット × 2

- *1: EXR100 や SBH-30 の AC アダプターとして使用できます。
- *2: DC 10.5V 入力用ケーブル (先バラ) です。DC 電源までの延長ケーブルが別途必要です。
- *3: バッテリー取付ブラケット SMB-206 が必要です。

特定小電力トランシーバーとの互換性に関して

EXR100 とあわせてお使いになるトランシーバーについては、拡声器機能や CUE 機能など独自の機能が使えない場合があります。EXR100 には、STR 特定小電力トランシーバーの使用をお勧めします。

STR 特定小電力トランシーバーにおいても、ソフトウェアのアップデートによって機能に対応する機種や、一部機能が互換性のないトランシーバーもあります。詳しくは、当社国内営業部にお問い合わせください(電話：03-6711-4055)。

EXR100 の全ての機能に対応している機種とソフトウェアのバージョン
機種：SRS210 シリーズ、SRS220 シリーズ、SR235
ソフトウェアバージョン：“0600” 以降

左記トランシーバーのソフトウェアバージョンの確認方法

1. トランシーバーの電源をオフにします。
2. [PTTスイッチ]/[ON▼]/[▲SET] を同時に押しながらか電源をオンにします。
3. [ON▼] キーを1回 (SR235 の場合は2回) 押します。
4. 画面にソフトウェアのバージョンが表示されます。



(例) バージョンが 0600 の表示

5. 確認が終わったら電源をオフにしてください。

各部の説明

スピーカー

中継している通話の音声、PA(拡声器)機能の音声や CUE(キュー)信号受信時のアラーム音、ピープ音などを出力します。
音が出ないようにすることもできます。

アンテナ

設置場所にあわせて向きを変えることができます。向きを変えるときはアンテナの根元を持って、矢印の方向に動かしてください。

電源ボタン

長押しして電源を ON/OFF します。

セットアップボタン

ボタンを押すだけの“オートセットアップ”で簡単に初期設定ができます。詳しくは下記の“初期設定(オートセットアップ)”を参照してください。

LED 点灯状況

送信中に赤色に点灯します。
受信中に緑色に点灯します。
緑色点灯：電源が入っているとき
緑色点滅：非常用内蔵バッテリーを使用中のとき
赤色点灯：非常用内蔵バッテリーを充電中のとき
本機の電源がオンの時は充電中でも点灯しません。

・バッテリー A と B の残量を表示します。
緑色点灯：まだ使えます
赤色点滅：残りわずかです
赤色点灯：空になりました。バッテリーを交換してください。
・セットアップ中は、バッテリー A の LED がオレンジ色に点灯または点滅します。

初期設定(オートセットアップ)

中継通話を行えるようにする

使用するチャンネルにあわせて1台の特定小電力トランシーバー(子機)の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定が自動的に行われます。設定終了後は、全ての子機を同じチャンネルにあわせるだけで中継通話ができます。

他人の通話の中継しないようにする

本機は、同じチャンネルの通話であれば、他人の通話も中継します。このような場合は、本機と全ての子機にグループコードを設定します。グループコードが一致しない通話は中継しません。

- 1 台の子機を中継用チャンネルにあわせる
10～18、12～29の中から選びます。
- グループ機能を ON にしてグループコードをあわせる
GP01～GP50、D017～D754の中から選びます。
- 長押し
バッテリー A の LED が
オレンジ色で点滅したら放す
- 長押し
電源を入れる
- 短押し
バッテリー A の LED がオレンジ色で
点灯します
- 長押し
電源を入れる
- 押し続ける
約 4 秒間
- 送信と受信の LED が
同時に点灯したら放す
- 押し続ける
約 4 秒間
- 送信と受信の LED が
同時に点灯したら放す
- 中継通話をする全ての子機を同じチャンネルにあわせる
- 中継通話をする全ての子機をグループ機能を ON にして
グループコードをあわせる
以上で初期設定は完了です

- 1 台の子機を中継用チャンネルにあわせる
10～18、12～29の中から選びます。
- グループ機能を ON にしてグループコードをあわせる
GP01～GP50、D017～D754の中から選びます。
- 長押し
電源を入れる
- 短押し
バッテリー A の LED がオレンジ色で
点灯します
- 長押し
電源を入れる
- 押し続ける
約 4 秒間
- 送信と受信の LED が
同時に点灯したら放す
- 押し続ける
約 4 秒間
- 送信と受信の LED が
同時に点灯したら放す
- 中継通話をする全ての子機を同じチャンネルにあわせる
- 中継通話をする全ての子機をグループ機能を ON にして
グループコードをあわせる
以上で初期設定は完了です

- ・子機で中継機能用チャンネルを選択するには、子機の中継機能を“ON”にする必要があります。操作方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- ・本機が中継動作をしている時(送信 LED が赤色に点灯中)はオートセットアップはできません。
- ・オートセットアップを途中で中止する場合は、セットアップボタンを押します。
- ・より詳細な設定は、パソコンやスマートフォンで設定することができます。(詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。)

補足

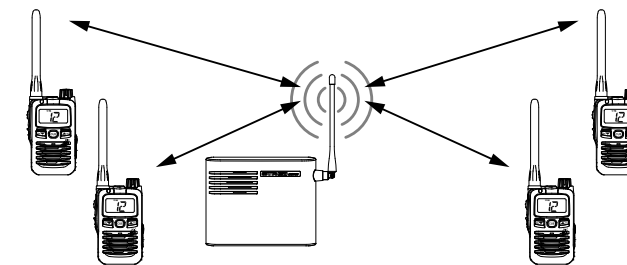
中継通話をする

一度初期設定を行えば、次回からは本機の電源をオンにするだけで中継通話ができます。

1. 子機の PTT (通話) スイッチを押しながら話します。
子機の画面に“通話”が表示されていないときは、「ピッ」とピープ音が鳴ってから話し始めてください。
2. 話し終わったら子機の PTT (通話) スイッチを放します。
相手の話を聞くことができます。

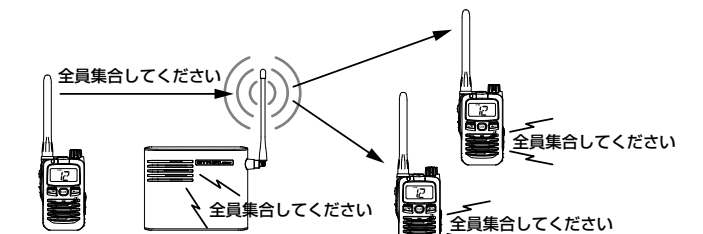
補足

約 2 秒以上中継通話が行われないと、子機の画面の“通話”表示が消えますので、通話を再開する時は、PTT (通話) スイッチを押して「ピッ」とピープ音が鳴ってから話し始めてください。



便利な機能

中継しながらスピーカーから音を出す PA (拡声器) 機能



特定の子機で必要な時だけ音声をスピーカーから出力する

通常はスピーカーからは音を出さずに通話の中継のみを行い、非常時などの必要な時だけ音声をスピーカーから出力することができます。

1. 本機のセットモードの“PA 常時モニター音量”を“OFF”に設定します。パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。
2. 本機のスピーカーから音を出したい子機に、“PA 機能”を割り当てます。割り当て方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
3. “PA 機能”を割り当てたキーを押しながら話します。
・本機のスピーカーから音声を出力しながら、同時に全ての子機に中継します。
・スピーカーから音を出したくない通話は、PTT (通話) スイッチを押しながら話すと、他の子機への中継のみ行います。
4. スピーカーの音量は、本機のセットモード“PA 緊急呼出音量”で 1～5 のいずれかの数字にします (工場出荷時は“3”に設定されています)。数字が大きいほど音が大きくなります。音量はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。設定方法は裏面の“セットモード”を参照してください。

特定の子機の通話音声を常にスピーカーから出力する

特定の子機の音声のみ、常にスピーカーから出力しながら中継することができます。

1. 本機のセットモードの“PA 常時モニター音量”を“OFF”に設定します。パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。
2. 常に本機のスピーカーから音を出したい子機の PTT スイッチに、“PA 機能”を割り当てます。割り当て方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
3. PTT (通話) スイッチを押しながら話します。
4. スピーカーの音量は、本機のセットモード“PA 緊急呼出音量”で 1～5 のいずれかの数字にします (工場出荷時は“3”に設定されています)。数字が大きいほど音が大きくなります。音量はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。設定方法は裏面の“セットモード”を参照してください。

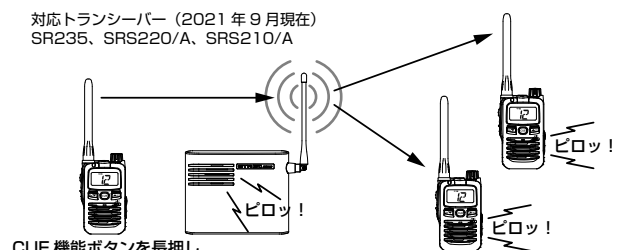
全ての通話音声を常にスピーカーから出力する

全ての通話音声を本機のスピーカーから出力して、子機を持っていないスタッフにも情報の共有ができます。同時に全ての子機にも中継されますので、現場のスタッフ全員との情報共有が可能です。

1. 工場出荷時はスピーカーから音が出ないように設定されていますので、本機のセットモードの“PA 常時モニター音量”を 1～5 のいずれかの数字にします。
数字が大きいほど音が大きくなります。音量はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。設定方法は裏面の“セットモード”を参照してください。
2. 以上で、全ての子機の通話音声を常にスピーカーから出力します。
スピーカーから音が出ない状態に戻すには、上記のセットモードの“PA 常時モニター音量”を OFF に設定します。

本機のスピーカーと全ての子機でアラームを鳴らす CUE (キュー) 機能

子機の CUE 機能キーを長押しするだけで、本機のスピーカーと他の全ての子機でアラーム音が鳴ります。子機のキーを押すだけなので、音声による送信ができない場合でも、スタッフ全員に注意を喚起することができます。



対応トランシーバー (2021 年 9 月現在)
SR235、SRS220/A、SRS210/A

1. 子機の [CUE] キーを「ビビッ」と音がするまで押します。
・子機の工場出荷時は [CUE] キーに“CUE 機能”が割り当てられています。
・[CUE] キーに他の機能が割り当てられているときは、“CUE 機能”を割り当ててください。
2. 他の子機に CUE (キュー) 信号を中継しながら、同時に本機のスピーカーから CUE アラーム音を鳴らして、周囲に注意を喚起します。

CUE 機能に関する下記の動作は、パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。

- CUE アラーム音の ON/OFF 設定 (工場出荷時設定：ON)
セットモード項目“CUE”で設定します。
- CUE アラーム音の種類設定
セットモード項目“CUE 呼び出し音”で設定します。
- CUE アラーム音の音量設定
セットモード項目“CUE 呼び出し音量”で設定します。

通話エリア通知機能

本機にアクセスする子機に対し、定期的にエリア判定用の確認信号を送出します。子機側では中継エリア (通話エリア) 内にあるかどうかを、画面表示とピープ音で確認できます。

対応トランシーバー：SR235、SRS220/A、SRS210/A (2021 年 9 月現在)

状況	電子音	画面表示
中継エリア内	中継エリア内になった時に「ビビッ」と鳴る	電子音が鳴った後「圏内」が点灯する
中継エリア外	中継エリア外になった時に「プッッ」と鳴る	電子音が鳴った後「圏内」が点滅する

注意 グループコードが設定されている場合のみ動作します。

1. 本機のセットモードの“エリア判定機能”を“ON”に設定します。パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。
2. 子機の“コールバック機能”を“ON”に設定します。設定方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
3. 以上で設定は完了です。

これらの機能は下記の機種以外のトランシーバーでは対応していませんのでご注意ください。
ソフトウェアのアップデートに関しては当社国内営業部 (03-6711-4055) にお問い合わせください。

SRS210シリーズ、SRS220シリーズ、SR235
(2021年10月現在)

セットモード

本機に内蔵の Wi-Fi (無線 LAN) 機能を使って、スマートフォンやパソコンのウェブブラウザの画面で、本機の各種機能をセットアップすることができます。インターネット接続環境は必要ありません。

接続方法

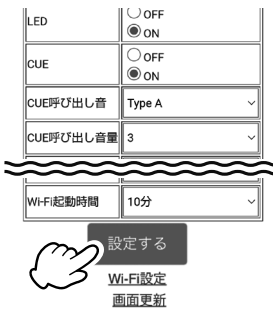
●スマートフォン (Android) で設定する

1. 本機の電源を一度オフにして、もう一度オンにします。



電源をオンにしてから“10分” (初期値) 以内に、画面の“設定する”をタップして設定を完了してください。10分を超えるとセキュリティの為、自動的に Wi-Fi が切断されます。

2. スマートフォンの [設定] をタップして開きます。
3. [ネットワークとインターネット] をタップして開きます。
4. [Wi-Fi] をタップします。
5. [EXR100-xxxxxxx] (xxxxxxx は本機の製造番号) をタップします。パスワード入力画面が表示されます。
6. パスワードを入力して、[接続] をタップします。パスワード：“12345678” (出荷時設定)
7. もう一度 [EXR100-xxxxxxx] をタップします。
8. [ログイン] をタップしてネットワークにログインします。自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。
9. 画面をタップして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をタップすると、本機に設定値が保存されます。



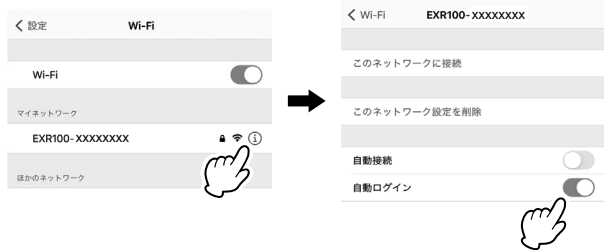
●スマートフォン (iPhone) で設定する

1. 本機の電源を一度オフにして、もう一度オンにします。

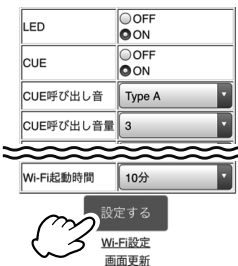


電源をオンにしてから“10分” (初期値) 以内に、画面の“設定する”をタップして設定を完了してください。10分を超えるとセキュリティの為、自動的に Wi-Fi が切断されます。

2. スマートフォンの [設定] をタップして開きます。
3. [Wi-Fi] をタップします。
4. [EXR100-xxxxxxx] (xxxxxxx は本機の製造番号) をタップします。
5. パスワードを入力して、[接続] をタップします。パスワード：“12345678” (出荷時設定)
6. 自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。
 - 自動的にブラウザが起動しない場合は、[設定] をタップした後の“Wi-Fi”画面で [EXR100-xxxxxxx] の右にある [i] をタップし、次の画面で自動ログインを“ON”にしてください。



- 自動ログインしない場合は、ご使用になるブラウザのアドレスバーに直接 [192.168.1.1] と入力すると、セットモード画面を表します。
7. 画面をタップして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をタップすると、本機に設定値が保存されます。



●パソコン

Wi-Fi (無線 LAN) 機能のあるパソコンが必要です。

1. 本機の電源を一度オフにして、もう一度オンにします。



電源をオンにしてから“10分” (初期値) 以内に、画面の“設定する”をタップして設定を完了してください。10分を超えるとセキュリティの為、自動的に Wi-Fi が切断されます。

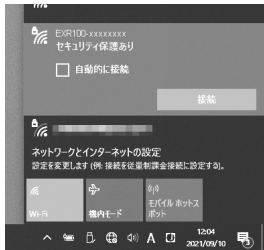
2. 画面の右下の“”アイコンを右クリックします。



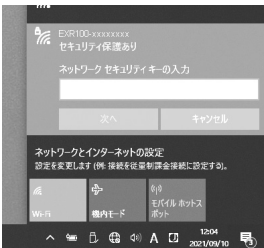
3. [EXR100-xxxxxxx] (xxxxxxx は本機の製造番号) をクリックします。



4. [自動的に接続] のチェックマークを外します。



5. パスワードを入力して、接続をクリックします。パスワード：“12345678” (出荷時設定)
- 自動的にウェブブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。



6. 画面をクリックして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をクリックすると、本機に設定値が保存されます。

Wi-Fi 設定

1. セットモード画面一番下の [Wi-Fi 設定] をタップまたはクリックすると、本機の Wi-Fi 設定変更画面が表示されます

項目名	初期値
SSID	EXR100-xxxxxxx (xxxxxxx は本機の製造番号)
Password	12345678
IP アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

2. [設定する] をタップまたはクリックすると、本機に Wi-Fi 設定の設定値が保存されます。

セットモード一覧

項目名	設定内容	設定値 (太字：初期値)
CH	中継チャンネル設定 ※中継チャンネルはオートセットアップでも設定できます。	10 ~ 18 / 12 ~ 29
グループコード	グループコード設定 ※グループコードはオートセットアップ機能でも設定できます。	OFF / GP01 ~ GP50 / D017 ~ D754
秘話	秘話モード設定 子機の秘話設定と同じ番号にあわせします。	OFF / 1 / 2 / 3
PA 常時モニター音量	受信音量 (全ての通話) 中継している全ての通話をスピーカーから出力する時の音量を設定します。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5
ビープレベル	ビープ音量 キー操作時のビープ音量を設定します。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5
スケルチ	スケルチレベル 数字が大きくなるほど弱い信号は中継しくくなります。	1 / 2 / 3 / 4
送信出力	送信出力 1mW に設定すると連続送信時間の制限 (3分間で送信を自動的に中止する) がなくなります。1mW の設定は、中継チャンネルが 12 ~ 29 の場合のみ有効。	10mW / 1mW
ホールド時間	ホールド時間 子機の信号が弱くなり途切れても通話を維持する時間を設定します。	0 (OFF) / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 (秒)
ファスト接続	ファスト接続機能の ON/OFF 通話時の中継動作における接続時間を短縮できます。子機もファスト接続機能を ON にする必要があります。	OFF / ON
エリア判定機能	通話エリア判定機能 通話エリア内かどうかを子機の画面とビープ音で知らせます。	OFF / ON
電池音	内蔵バッテリー切替時の警告音送信 非常用の内蔵バッテリーに切り替わった時に、子機に警告音を送信します。	OFF / ON
セーブ	バッテリーセーブ機能 バッテリー動作時にバッテリーの消費を抑えます。	OFF / ON
APO 時間	自動電源オフ機能 電源をオンにしてから設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。	OFF / 1 / 2 / 4 / 8 (時間)
コンパング	コンパング機能 受信音のサーというバックノイズを軽減します。子機もコンパング機能を ON に設定する必要があります。	OFF / ON
LED	LED インジケータ 電源以外の LED インジケータがすべて消灯します。	OFF / ON
CUE	CUE (キュー) 受信 CUE 機能を使って子機から送信されたアラーム音をスピーカーから鳴らします。	OFF / ON
CUE 呼び出し音	CUE アラーム音の種類を設定	Type A / Type B / Type C
CUE 呼び出し音量	CUE アラーム音の音量	1 / 2 / 3 / 4 / 5
PA 緊急呼出音量	PA 機能動作時のスピーカー音量 PA 機能で音声をスピーカーから出力する時の音量を設定します。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5
Wi-Fi 起動時間	セットモード設定が可能な時間 本機の電源がオンになってから、Wi-Fi によるセットモードが可能な時間を設定します。	5 / 10 / 15 (分)

初期設定に戻す (オールリセット)

本機の全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. 電源ボタンを押して電源をオフにします。
2. セットアップボタンを押しながら、電源ボタンを押して電源をオンにします。以上でリセットは完了です。

定格

送受信周波数 (12.5kHz ステップ)
10ch ~ 18ch : 440.2625MHz ~ 440.3625MHz
421.8125MHz ~ 421.9125MHz
12ch ~ 29ch : 440.0250MHz ~ 440.2375MHz
421.5750MHz ~ 421.7875MHz

電波型式 : F2D、F3E
通信方式 : 半複信方式
送信出力 : 10mW 以下 / 1mW 以下
受信感度 : - 14dBμV 以下 (@ 12dB SINAD)
低周波出力 : 最大 4W (@ 10.5V 外部電源使用時)
最大 1.5W (@ 7.2V SBR-34LI 使用時)

動作温度範囲 : - 20°C ~ + 50°C
定格電圧 : DC3.6V/DC7.2V/DC10.5V (動作範囲 : 3.24V ~ 12V)

本体寸法 : 約 155 × 125 × 37mm (幅 × 高さ × 奥行き : アンテナおよび突起部を含みます)
本体重量 : 約 440g

※この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。
※ RoHS 指令準拠

正しくご使用いただくために

- ◎ 当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
 - ◎ オプションの大容量リチウムイオンバッテリー“SBR-34LI”を充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。
 - ◎ 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
 - ◎ 本機を分解・改造することは電波法で禁じられています。
 - ◎ 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- ◎ 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。詳しくは下記の URL をご覧ください。

八重洲無線株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル
TEL : 03-6711-4055
URL : <http://www.yaesu.com/jp/>

- ◎ 保証期間はお買い上げの日より 3 年間です。本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。非常用内蔵バッテリーは消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外になります。
- ◎ 保証書は大切に保管してください。保証書を紛失すると、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入していない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることを確認のうえ、大切に保管してください。
- ◎ 非常用内蔵バッテリーは消耗品です。充電電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合は非常用内蔵バッテリーの寿命です。非常用内蔵バッテリーの交換 (有償) は、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください。